

消化器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 非切除肝門部悪性胆道狭窄に対する 6Fr 金属ステントを用いたサイドバイサイド法による内視鏡的複数本ステントの一期的同時留置術の安全性と有効性を検討する後方視的研究

[研究機関] 北海道大学病院消化器内科

[研究責任者] 河上 洋 （消化器内科・助教）

[研究の目的]

切除できない肝門部の悪性胆道狭窄に対するドレナージ術（胆汁の流れが悪くなっているところにチューブなどを通して流れを良くする治療）において、サイドバイサイド法（二つの金属ステント[消化管を広げる医療機器]を隣り合わせて複数本留置する方法）による内視鏡的複数本金属ステント留置術を行った結果から、その安全性と有効性を明らかにするため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

切除不能肝門部悪性胆道狭窄の患者さんで、平成 25 年 5 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日の間に、サイドバイサイド法による内視鏡的複数本金属ステント留置術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、疾患名、血液検査、画像検査、治療内容、偶発症内容、治療後経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院消化器内科 担当医師 川久保 和道
電話 011-716-1161 FAX 011-706-7867